

Precious Memories Clock

取扱説明書

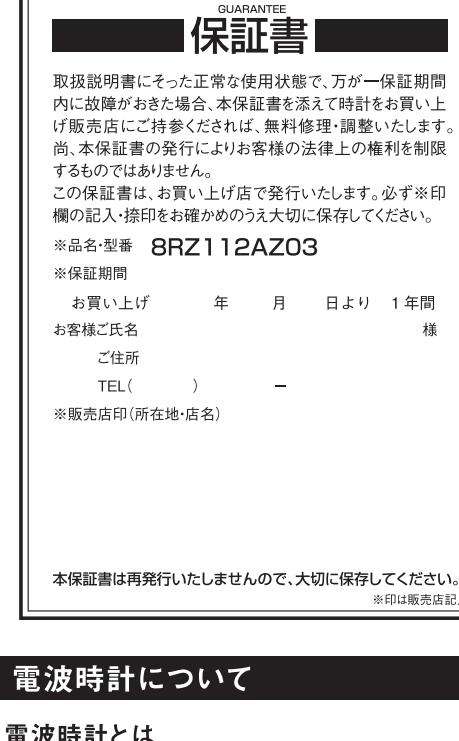
お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。
挙式などで使用される場合は必ず事前に動作確認を行ってください。

ユーザーサポートや修理などのアフターサービスのご利用のために
下記URLよりユーザー登録をお願いします。

<http://www.passtimejapan.com>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、
損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

BRZ112AZ(Y1010)



保証について

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、販店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 1.保証書のご提示がない場合。
- 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- 4.お客様のお手元に渡ってからの取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
- 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- 7.ご使用中に生じた外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
- 8.電池の交換

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載しています。

●この保証書は国内のみ有効です。

This guarantee is valid only in Japan.

●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報を得た標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

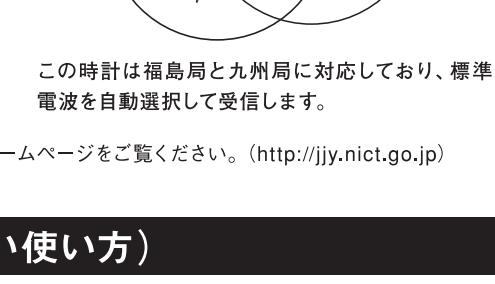
標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどりや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（<http://jjy.nict.go.jp>）

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。※アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなことがあります。（例：Panasonicオキシライド乾電池）

取り扱いについて

- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。
 - 電池に傷をつけたり、分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きましたとき

- 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

- もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入っていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- 買いつきの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

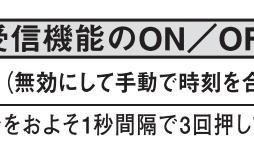
①表示面の照明

時計上部にあるスヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明時は正面や上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

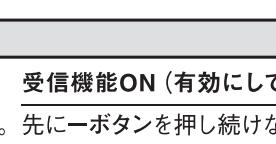
②時刻／日付切り替え

時刻／日付切替ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることが出来ます。

〈時刻優先表示〉



〈日付優先表示〉



○手動で時刻やアラーム時刻を合わせている最中、アラーム状態、電波受信中のときは切り替えできません。

③温度表示

センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度を反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 「HH.H」 50°Cより高温 「LL.L」 -9.9°Cより低温

○本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

④電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。

○「ピー」と鳴ってから押してください。

○3回目は「ピー」と鳴りません。

○日付および時刻は手動で合わせてください。

⑤強制受信とリセット操作

強制受信ボタン…標準電波の受信を開始する

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに行います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

つぎのようなときは受信を開始しません。

●アラームが鳴っているときやスヌーズ中。

●手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中。

受信機能ON（有効にして受信を開始する）

先に一ボタンを押し続けながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。

その後に一ボタンを離してください。標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

リセットボタンを押すとタイマーも初期化されます。

⑥デコレーションシートについて

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は2010年1月1日午前12:00

アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

リセットボタンを押すとタイマーも初期化されます。

透明保護カバー

付属のデコレーションシートを選んで時計正面にセットすることができます。

その上から透明保護カバーをセットしてください。

外すときは中央部を少しわませて外してください。

デコレーションシート

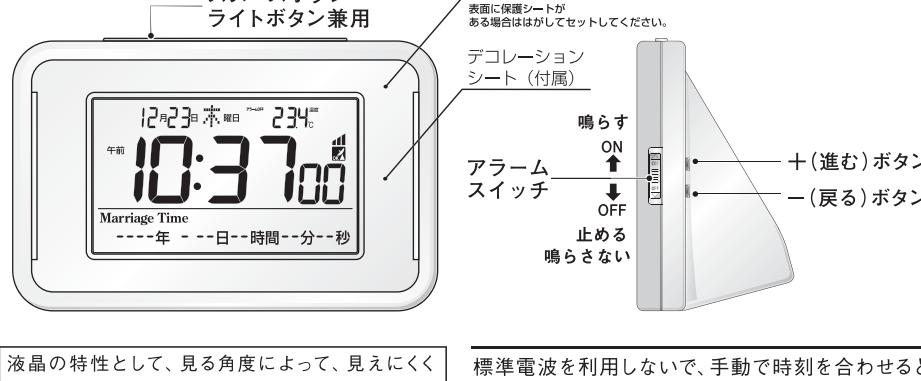
透明保護カバー

デコレーションシート

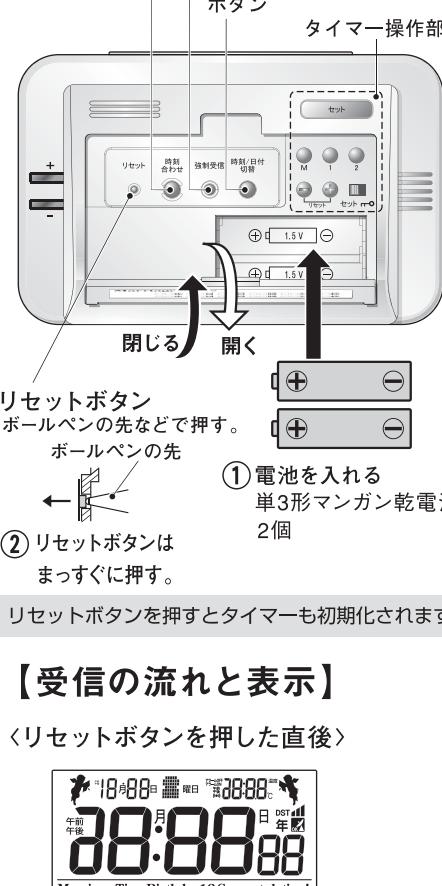
透明保護カバー

1. 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。この時計は正面およびや上方から見たときに見やすくなります。



リセットボタンを押すとタイマーも初期化されます。

【受信の流れと表示】

①リセットボタンを押した直後



受信開始



受信マークの変化
受信できない → 受信しやすい

チェック!

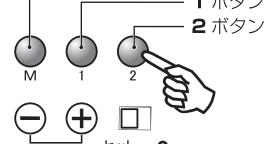
1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信終了



受信成功 受信マークが点灯



※受信に失敗した場合は時刻や日付は正しくありません。

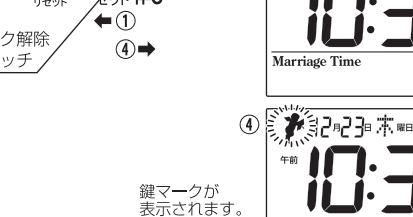
受信マークは受信成功後、24~25時間点灯

(受信に成功したときの表示例) (受信に失敗したときの表示例)

受信マークが点灯し受信成功を示しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

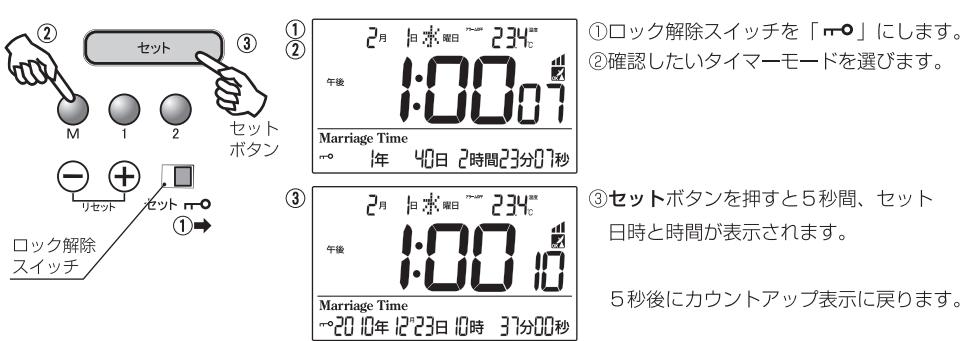
3. タイマー機能の使い方

タイマー表示切替 タイマー表示を切り替えることができます。



カウントアップスタート機能

大切な時を迎えた瞬間からのカウントアップ表示の設定ができます。

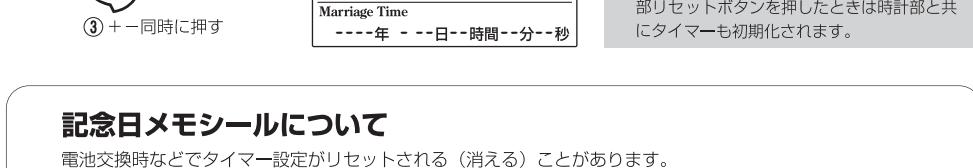


セット日時確認機能

いつでも記念の日付・時刻を確認できます。



タイマーのリセット方法



記念日メモシールについて

電池交換時などでタイマー設定がリセットされる（消える）ことがあります。セットしましたら必ずセット日時を確認して、「記念日メモシール」に控えてください。シールは時計の裏面に貼ることができます。



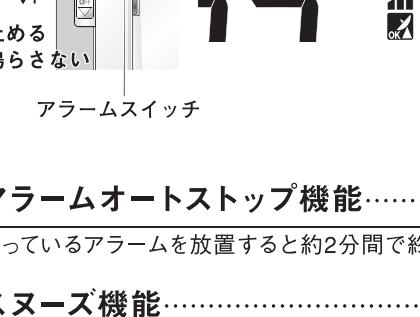
2. アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方



- ①十または一ボタンを押してすぐに離す。「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- ②アラーム時刻を合わせる。十または一ボタンを押してすぐ離すと、1分進んだり戻ります。押しつづけると早く変わります。
- ③アラーム時刻合わせを終わる。およそ5秒間ボタン操作をしないと、点滅が止まりアラーム時刻または温度表示に切り替わります。

アラームのON/OFF設定



- アラームスイッチON: 設定時刻にアラームが鳴る。
▶アラームマーク (●) が点灯して、アラーム時刻を表示します。
温度を確認するときには、アラームスイッチをOFFにしてください。
アラームスイッチOFF: アラームを止める、鳴らない。
▶アラームマークが消灯して、温度を表示します。

アラームオートストップ機能 (自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能 (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、時計上部にあるスヌーズボタンを押すと、アラームマーク (●) が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にはスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク (●) は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク (●) が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓際などに置いてください。リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作をご使用になれます。

■手動での時刻の合わせ方

1. 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。

2. 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

▶十または一ボタンを押して数値を合わせます。

押してすぐ離すと1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。

▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

●電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

④ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。

●電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

●電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

⑥ +または-ボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき十または一ボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。

時刻合わせボタンを押して設定を終ります。

操作例: 2010年12月25日 午前10:37に合わせる。

①時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。

②十または一ボタンで「年」を「2010」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

③十または一ボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

④十または一ボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

⑤十または一ボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。

⑥十または一ボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき十または一ボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。

時刻合わせボタンを押して設定を終ります。

操作例: MarriageTime を設定する 2010年12月23日 午前10時37分00秒に合わせる。

①ロック解除スイッチを「セット」にします。

②Mボタンを押して設定するタイマーモードを選びます。

③Mボタンを約2秒間押しつづけます。

④+または-ボタンで「年」を「2010」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑤+または-ボタンで「月」を「12」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑥+または-ボタンで「日」を「23」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑦+または-ボタンで「時」を「10」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑧+または-ボタンで「分」を「37」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑨+または-ボタンで「秒」を「00」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑩カウントアップがスタートします。

※式などの予定日(未来)の日時を設定した場合はカウントダウンの表示となります。設定時刻になると記念時刻アラームが鳴り、カウントアップがスタートします。

手動でのセット方法

電池交換をしたときなど手動で記念日の設定ができます。

※電波受信中、日付の変わる前後、記念時刻アラーム時は手動セットできません。タイマー表示が正しく表示されないことがあります。誤表示したときはリセットボタンを押して再設定してください。



●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、設定を終了します。

●設定を間違えた場合は、一度リセット操作をして再設定してください。

●設定できる日時は1920年1月1日~2099年12月31日までです。

●複数のタイマーに同じ日時を設定した場合は、M→1→2の順に優先表示します。

●Birthday1を設定するときは1ボタンを押して設定を開始し、1ボタンで確定してください。

●Birthday2を設定するときは2ボタンを押して設定を開始し、2ボタンで確定してください。

●+または-ボタンで「秒」を「00」に合わせます。Mボタンを押して確定します。

⑩カウントアップがスタートします。

※式などの予定日(未来)の日時を設定した場合はカウントダウンの表示となります。設定時刻になると記念時刻アラームが鳴り、カウントアップがスタートします。

記念日表示と記念時刻アラームについて

セット当日とセット日の1年後より毎年、セット日の0時00分~23時59分の間、記念日アイコンが点滅します。他のタイマー表示のときは自動的に記念日のタイマー表示に切り替わります。

セット時刻にはアラームが鳴ります。(ピッピッピッピッピッピッ)

毎年記念日当日には記念日アイコンが点滅します。

時計操作のお問い合わせ先

時計のご使用方法についてご不明なことがありますらお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計の製造番号(型番)「8RZ112AZ」をお伝えください。

輸入元 リズム時計工業株式会社

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)